

社会福祉法人亀岡福祉会 2018年度事業報告

1. 2018年度法人事業の総括

2017年度に社会福祉法人機能や社会的役割等の大幅改正された改正法社会福祉法が2018年4月1日施行されるなど、法人運営、事業展開のあり方について社会福祉法人亀岡福祉会（以下「亀岡福祉会」）らしさを生かしながら探っていくことが求められる2018年度のスタートになりました。

同時に、厚生労働省は関連制度の改正を矢継ぎ早に打ち出し、法人事業に少なくない影響が生じた年度でもありました。とりわけ、障害者自立支援法から導入した日額払いの報酬制度、就労継続支援B型ではじめて「支援の成果」（＝工賃の多寡）による格差をつける「成果主義」を取り入れました。つまり一定の出勤率以上の利用者全員の平均工賃で7段階のランクをつけ従前の「目標達成加算」を廃止しました。否応なしに「より高い工賃を」を求めざるをえなくなる仕組みとも言えます。様々な障害や「生きづらさ」を支援し安定した生活をする本来の事業目的が「より高い工賃」に翻弄され、それに見合う利用者を事業所が選ぶなどの目的の歪みを生じかねない制度です。報酬制度改定によりかめおか作業所、第三かめおか作業所の減収の事態も生じました。他にも、生活保護基準額の減額、食事提供体制加算や送迎加算など廃止も含めた報酬改定の表明、28の中央省庁行による障害者雇用「水増し」問題、旧優性保護法による被害者、家族への十分とは言えない法制度等々、一層厳しくなる障害者や家族の生活の安定につながるのかどうか不安感を禁じえません。

そのような状況の中でも、2018年10月には全国から5,500名が参加した「きょうされん第41回全国大会 in 京都」に全国・京都の関係者と一緒に取り組み亀岡福祉会も成功に一定の役割を担いました。「つながる、手をつなぐ」大会の手ごたえは今後の亀岡福祉会事業の推進力に、とりわけ昨年度準備し2019年度に本格的な作成に入る「亀岡福祉会ビジョン2025」「40周年記念事業」の成功に繋がる力になることでしょう。

利用者、家族の高齢化の進行は年々その速度を増し、「死亡」も含む深刻な事態が生じました。グループホーム、ショートステイなど生活支援の場のイレギュラー対応や日中支援の場でも医療的ケアを要する事態などが生じましたが、限られた条件の中で最大限の対応に努めてきた年度になりました。

全産業分野で生じている「働き手不足」の事態は亀岡福祉会も「欠員」が常態化するなど深刻です。各種の「就職フェア」に参加、求人誌の掲載等人材確保の努力を重ねてきましたが事態の打開には至っていません。

今年度本格スタートした「共育（ともそだち）委員会」の活動も強めながら「亀岡福祉会らしい人材育成」、「権利擁護委員会」系統的な活動を通して虐待防止を含む、人権と尊厳を基礎に業務遂行ができる人材育成に取り組んできました。また「労働安全委員会」では専門機関を活用した職員のストレスチェック、ヒアリング、研修会等を開催し「働きやすい職場環境づくり」にも努めてきました。

以上のように、外的要因も影響した利用者、家族、職員の間には事象が生じています。それらをひとつずつ解決し、亀岡福祉会がめざすものを前に進めていくには、今日までの成果を教訓にいつもの「学び」を重視して「人権と尊厳」をおさえた実践を展開できる事業所、それを育む集团的組織を創造しなければなりません。職員が障害のある人の願いを軸にした支援者、福祉労働者として

豊かに育っていくことが今まで以上に求められています。これらの課題を2019年度に繋げていきたいと思えます。

○「つながり」と「共同のとりくみ」で「願いに応える」事業の前進を確信した1年になりました。

「きょうされん第41回全国大会 in 京都」は、京都開催では19年ぶり4回目の全国大会になりました。福祉分野等の43団体が実行委員会に加わり「より良い社会福祉、社会保障づくりを」の一致点で2年越しの準備、京都府、京都市を含むほぼすべての行政、社会福祉協議会の後援、4,400名の大会参加者、ボランティアも含め5,500名という最大規模の大会になりました。

批准5周年を迎えた「障害者権利条約」、障害者自立支援法基本合意5周年の前年度という節目に今後の障害者福祉のあり様を問う意義ある大会になりました。亀岡福祉会は大会の企画、協賛等の各部署の中心的な役割を担いました。

「つながること、一致点に基づく共同のとりくみの達成感」の体験的確信を「幅広い方々と事業をすすめる」教訓として生かしていくことが肝要です。

○深刻な利用者、家族の高齢化などにより生じる新たな支援システムの構築が、さらに求められる1年でした。

2018年度に1名の利用者が他界しました（56才卵巣がん）。共同作業所時代から35年近く共に歩いてきた利用者でした。家族（母親）の1名がなくなりました。（病死）

現在も数名の利用者が入院または在宅で、訪問看護等医療ケアを受けながら生活をしています。内1名は重篤な症状です。数家族は親の高齢による家族介護が難しい状況になっています。引き続き医療機関との連携、新グループホーム等の課題を具体的に形にすることが急務です。

○人材不足、人材育成、スキルアップ、経営・管理上の課題が継続しています。

慢性的な「欠員」状態の中、職員同士の意思一致、学習、議論の時間がとりにくいことも要因となり職員間の不団結、退職等「信頼と共感」に基づいた職場環境づくりの不十分さも現れました。

職員会議の工夫、全体職員研修、各種別研修、等、時間の確保も含めた内容、進行上の工夫等といった努力が求められます。

「亀岡福祉会ビジョン2025」の作成過程も貴重な人材育成の場として捉え、共育ちに向けて一層の充実を図ります。

○就業規則等職場規律遵、職員資質の向上、管理上の課題等が浮き彫りになりました。

利用者と職員の節度ある関係、利用者に寄りそった感情に左右されない冷静な掛け声など外部からの「虐待通報」や、就業規則違反による懲戒などが生じる事態が数件発生した年度でした。その都度、組織的議論をし経過と再発防止の対応をしてきたものの、日常的に就業規則の順守と倫理も含めた職員資質の向上に向けた人事育成の仕組みづくりが喫緊の課題があることが浮き彫りになりました。慢性的な「欠員」状態の中、職員同士の意思一致、学習、議論の時間がとりにくいことも背景にあったことも認識し、早期の改善が課題です。これらの課題は「共育委員会」の内容の拡充と合わせて、「亀岡福祉会ビジョン2025」の策定過程で引き続き取り組んでいきます。

2. 2018年度理事会・評議員会の開催状況

<理事会> 7回開催

開催年月日	場所	理事会協議事項	欠席理事
2018年 6月12日(火) 出席理事5名 出席監事2名	玉川楼	<協議事項> 第1号議題 2017年度社会福祉法人亀岡福祉会事業報告 第2号議題 2017年度社会福祉法人亀岡福祉会会計決算 ならびに監事監査報告	峰島厚
2018年 7月6日(金) 出席理事5名 出席監事1名	相談支援センターお結び会議室	<協議事項> ・社会福祉法人亀岡福祉会職員 就業規則違反事案について	峰島厚 木村好孝
2018年 7月30日(月) 出席理事6名 出席監事1名	相談支援センターお結び会議室	<協議事項> ・社会福祉法人亀岡福祉会職員 就業規則違反事案について	木村好孝
2018年 11月6日(火) 出席理事6名 出席監事2名	相談支援センターお結び会議室	<協議事項> 第1号議題 ・2018年度社会福祉法人亀岡福祉会 上半期事業と財政報告ならびにビジョンについて	
2019年 1月24日(木) 出席理事6名 出席監事2名	相談支援センターお結び会議室	<協議事項> 第1号議題 ・社会福祉法人亀岡福祉会就業規則の改正について	
2019年 3月5日(火) 出席理事6名 出席監事2名	相談支援センターお結び会議室	<協議事項> 第1号議題 ・2018年度社会福祉法人亀岡福祉会4月～1月事業報告ならびに補正予算について 第2号議題 ・社会福祉法人亀岡福祉会 次年度人事について	
2019年 3月27日(水) 出席理事6名 出席監事1名	相談支援センターお結び会議室	<協議事項> 第1号議題 ・2019年度社会福祉法人亀岡福祉会事業計画 ならびに当初予算について 第2号議題 ・社会福祉法人亀岡福祉会就業規則の改正について	木村好孝

<評議員会> 定時評議員会／臨時評議員会 2回

開催年月日	場所	評議員会協議事項	欠席評議員
定時評議員会 2018年 6月28日(木) 出席評議員12名	相談支援センターお結び会議室	<p><協議事項></p> <p>第1号議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度社会福祉法人亀岡福社会事業報告 <p>第2号議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同上 会計決算ならびに監事監査報告 <p>第3号議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資産登記変更について 	大谷俊定 木崎博彦 西岡尚也
臨時評議員会 2018年 8月9日(木) / 8月10日(金) 出席評議員12名	相談支援センターお結び会議室	<p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法亀岡福社会 職員懲戒について 	大谷俊定 木崎博彦 西岡尚也
臨時評議員会 2018年 11月27日(火) 出席評議員7名	ギャラリーかめおか研修室	<p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度社会福祉法人亀岡福社会 上半期事業と財政報告ならびにビジョンについて 	大谷俊定 木崎博彦 西岡尚也 前淵功 山内育子 吉岡隆行 西浦昌巳 坂口武弘